

7日 金曜

ヨハネ



19:1 それでピラトは、イエスを捕らえてむちで打った。

19:2 兵士たちは、茨で冠を編んでイエスの頭にかぶらせ、紫色の衣を着せた。

19:3 彼らはイエスに近寄り、「ユダヤ人の王様、万歳」と言って、顔を平手でたたいた。

19:4 ピラトは、再び外に出て来て彼らに言った。「さあ、あの人をおまえたちのところに連れて来る。そうすれば、私にはあの人に何の罪も見出せないことが、おまえたちに分かるだろう。」

19:5 イエスは、茨の冠と紫色の衣を着けて、出て来られた。ピラトは彼らに言った。「見よ、この人だ。」

19:6 祭司長たちと下役たちはイエスを見ると、「十字架につけろ。十字架につけろ」と叫んだ。ピラトは彼らに言った。「おまえたちがこの人を引き取り、十字架につけよ。私にはこの人に罪を見出せない。」

19:7 ユダヤ人たちは彼に答えた。「私たちに律法があります。その律法によれば、この人は死に当たります。自分を神の子としたのですから。」

19:8 ピラトは、このことばを聞くと、ますます恐れを覚えた。

19:9 そして、再び総督官邸に入り、イエスに「あなたはどこから来たのか」と言った。しかし、イエスは何もお答えにならなかった。

19:10 そこで、ピラトはイエスに言った。「私に話さないのか。私にはあなたを釈放する権威があり、十字架につける権威もあることを、知らないのか。」

19:11 イエスは答えられた。「上から与えら

れていなければ、あなたにはわたしに対して何の権威也没有せん。ですから、わたしをあなたに引き渡した者に、もっと大きな罪があるのです。」

19:12 ピラトはイエスを釈放しようと努力したが、ユダヤ人たちは激しく叫んだ。「この人を釈放するのなら、あなたはカエサルの友ではありません。自分を王とする者はみな、カエサルに背いています。」

19:13 ピラトは、これらのことばを聞いて、イエスを外に連れ出し、敷石、ヘブル語でガバタと呼ばれる場所で、裁判の席に着いた。

ピラトはイエス様を痛めつければ、それでユダヤ人たちの気が済むと思い、鞭打ちにします。しかし人間的な思いつきでは人は変わることはありません。あくまでも「十字架につけろ」との叫びは収まりませんでした。

人は聖霊によらなければ、イエスをキリストと告白することはできません。すなわち救い主として信じることはできないのです。またクリスチャンも聖霊によらなければ、人格に実を結ぶことはできません。聖霊によらずに、感情だけをなだめようとしても無益ですから、聖霊を求めましょう。

さらにピラトのように、鍵を握る人が自分を守ることに終始していたら、事態が収まるどころかますます悪くなります。この時点で、ピラトには「何の権威も」ないのです。

聖霊による権威を主からいただいて、解決に臨みましょう。イエス様は全く弱い立場におかれながらも、その権威によって神のご計画を全うしたのです。

ピラトはイエス様を痛めつければ、それでユダヤ人たちの気が済むと思い、鞭打ちにします。しかし人間的な思いつきでは人は変わることはありません。あくまでも「十字架につけろ」との叫び

は収まりませんでした。

愛のゆえに自ら弱くなられたイエス様にこそ権威があることを覚え、イエス様の救いにこそ人を変える力があることを覚えて、人生の決断をしてゆきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

